



ふじもとともこ
藤本智子

にほんきょうさんとうつしぎだん
日本共産党津市議団

国保料の平均21%もの大幅値上げは見直しを

問 市が昨年広報で示した所得278万円・3人家族のモデル世帯で新しい保険料を試算すると、10万円を超える負担増となる。国保加入者は、65～74歳が43%を占め、所得200万円以下の世帯が80%となっている。協会けんぽや共済加入者も、最後は国保へ加入することになる。社会保障の観点で、一般会計からの繰り入れを増やし、負担軽減を図るべきではないか。

答 国民健康保険には高齢者や低所得者が非常に多く加入しており、被保険者数と保険料の賦課総額は減ってきているが、医療費や拠出金は逆に増えている。これを受け一般会計から国保会計へ平成26年度には約3億3700万円、平成27年度には約15億7500万円もの法定外繰り入れを行っている。現在の保険料率では、国民健康保険財政の収支が全く保てない状況であり、将来にわたって安心して医療を受けていただくためにも、保険料率の改定は避けて通れないところである。国保会計を安定化させるため、平成28年度は、一般会計から繰り出すことを前提とした当初予算を組んでいる。国からの低所得者対策の交付金もあるが、十分でないため、県を通じて国へ要望していきたい。

●その他の質疑・質問●

- 資源ごみ持ち去りパトロールは、業者回収と2重になっていないか。平成27年度に予算流用で対応していることは不適切である。委託料の根拠を明確にするとともに、持ち去りに対する抜本的対応策を講じるべき
- 資材、人件費高騰に見合う維持管理費の増額を
- 生き生きサロンは地域の自主性を尊重した支援を など



▲資源持ち去りにはパトロールに代わる抜本的な対策を



はったまさとし
八 太 正 年

じゆうみんしゅとうしぎだん
自由民主党市議団

白塚及び河芸沿岸部の海岸堤防の早期改修を

問 白塚地区および河芸地域沿岸部の海岸堤防改修については、「命と交換」の話として、3・11以前である平成20年ごろから申し上げており、地域の方々が安心できるよう、早急な対応を求めている。

海岸堤防のうち、三重県が管理する5km部分と、津市が管理する2カ所の漁港の2km部分の整備に係る今後のスケジュールはどのようになっているのか。

答 三重県が管理する津北部地域の海岸堤防については、平成25年度から実施した当該海岸堤防の地質調査および液状化の有無についての解析を終え、平成28年度に新堤防の形状と整備スケジュールに係る基本設計を予定していると聞いている。

津市が管理する漁港区域海岸堤防については、平成27年度に地震災害時における液状化の可能性を考査する地質調査を実施した。この結果を受け、隣接する県管理区域の地質調査結果なども活用し、平成28年度に基本計画を策定する。

当該海岸堤防の整備は、国・県が整備、管理する堤防と一体化した形態、工法などが市民の安全・安心なまちづくりには重要であることから、早期事業化に向け取り組みを進める。

●その他の質疑・質問●

- 矢頭トンネルからのズリ（建設資材）の横流しについて
- 火薬使用の工事現場付近の民家への被害の補償について
- 近鉄久居駅周辺のまちづくりのうち危険踏切の解消について
- 新リサイクルセンターの能力について
- 新リサイクルセンターは瑕疵なく完成しているのか など



▲早急な対応が必要な白塚地区と河芸地域沿岸部の海岸堤防